

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成22年10月21日 (2010.10.21)

【公表番号】特表2010-518539(P2010-518539A)  
 【公表日】平成22年5月27日 (2010.5.27)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-021  
 【出願番号】特願2009-548600(P2009-548600)  
 【国際特許分類】

G 1 1 B 7/0065 (2006.01)

G 0 3 H 1/26 (2006.01)

【 F I 】

G 1 1 B 7/0065

G 0 3 H 1/26

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年8月27日 (2010.8.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ホログラフィックストレージ媒体に記録されたフーリエ・ホログラムをホログラフィックストレージシステムにより読み出す方法であって、該方法は、

- a．参照ビームとストレージ媒体との少なくとも 2 つの相対位置において、再構成されたフーリエ・ホログラムの検出された画像から特性値を計算し、ここで、それぞれの相対位置は、それぞれの相対位置での参照ビームとストレージ媒体との位置合わせズレを示しており、
- b．測定された特性値からサーボ値を計算し、
- c．計算されたサーボ値を用いて、予め決定されたサーボ関数によって参照ビーム及びストレージ媒体の整列した相対位置を決定し、
- d．参照ビーム及び上記ストレージ媒体の相対位置を整列した相対位置へ設定し、
- e．整列した相対位置で画像を検出する、

工程を備える、読み出し方法。

【請求項 2】

上記フーリエ・ホログラムは、複数のデータ・コード・ブロックを備え、各データ・コード・ブロックは、データ・コード・ブロックのセットの一つである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

特有の関数は、

【数 1】

$$SNR = \frac{E(SNR_{block})}{E(SNR_{block}^2) - E(SNR_{block})^2}$$

として計算された信号対雑音比 ( S N R ) 関数であり、

ここで、E は期待値関数であり、S N R<sub>block</sub> は、データ・コード・ブロックの信号対雑音比を表わす、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ホログラフィックストレージ媒体（６）に記録されたフーリエ・ホログラム（７）を読むためのホログラフィックストレージシステム（１）であって、該システム（１）は、参照ビーム（３）生成手段と、ストレージ媒体（６）受取り手段と、再構成されたホログラムを検出する検出器（５）とを備え、さらに、請求項１から３のいずれかに記載の方法を実行するためのサーボ制御ユニット（１４）を備える、ホログラフィックストレージシステム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

この目的は、請求項１に記載の方法、及び請求項４に記載のホログラフィックストレージシステムによって達成される。